



I. 01 の法則・0.99 の法則

先週、中間テストが返却されたと思います。どうだったでしょうか？

思うような結果が出た人、思ったほどの結果が出なかった人、と様々な結果だったのではないかでしょうか。次の期末テストにむけ、また半年後・1年後のみんなのために今日の全校集会で「**1.01 の法則、0.99 の法則**」のお話をしました。もう少し詳しく説明します。よく読んでください。

1.01 と 0.99 には **0.02 の差**しかありませんが、「1.00」を今の自分の生活として、1 日の中でほんのちょっとの努力 (+0.01) の努力を 1 年間続けると $1.01 \times 1.01 \times 1.01 \dots \times 365$ 乗 (1 年 = 365 日) $1.01^{365} = 37.7834343$ 、なんと、ほんのちょっとの努力で「1.00」が 37.8 倍にもなります。ところが、1 日の中でほんのちょっとさぼる (-0.01) ことを 1 年間続けると、 $0.99 \times 0.99 \times 0.99 \dots \times 365$ 乗 $0.99^{365} = 0.0255179645$ 、なんと、ほんのちょっとさぼることで「1.00」が約 0.03まで減ってしまうのです。1.01と0.99、この差は 0.02 というほんのわずかな差ですが、1 年間で計算上では 1200 倍以上の差ができてしまいます。これは計算上の問題で必ずしもこの通りにすべてがいくわけではありません。ただし、「**継続は力なり**」、**少しの努力の継続が大きな力になることは間違いありません**。そのことをみんなには知っておいてほしいと思います。

では、具体的にこの 0.01 はどのくらいのものかというと、1 日の時間で考えると +0.01 は、1 日 = 24 時間 = 1440 分の 0.01 ですから約 15 分ということになります。これなら何とかなりそうです。今までやってなかったことを **1 日 15 分頑張ればいい**のです。朝、起きてから単語を覚える。漢字を書いてみるなどの積み重ねが大切になります。また、学校の中では例えば 1 時間 = 50 分の授業の中で、今まで集中できなかった時間を 5 分集中する。それを 3 教科頑張っていけば 15 分になります。こんな風に自分に合った挑戦をすればいいと思います。さらにもし、15 分が難しいようであれば、量より質を充実させてください。「**1.01 の法則**」というのは、こつこつ努力すれば、やがて大きな力になるという法則です。また、「**0.99 の法則**」は、逆に少しずつさぼればやがて力がなくなりますという法則です。

さあ！君たちはどちらの法則を選びますか？しっかりと先を見すえて、今の行動を考えましょう。

